

令和3年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

No.	予算科目	事業名
2	2款1項5目（企画費）	移住定住に要する経費

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	20	積極的に移住定住者を受け入れて、町を活性化していく必要がある。 増加している空き家の活用方法も考慮しつつ、移住者が定着するような施策を考えるべきである。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	18	町や地域が望む地域おこし協力隊員を明確にして取り組む必要がある。 地域おこし協力隊員の定住化を勧め、空き家対策を含め見直すべきである。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	5	地域おこし協力隊員の定着や空き家バンクの利用による移住が少なく、事業の効率性が薄い。 地域おこし協力隊員は、目的を明確にして取り組む必要がある。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	5	今まで成果はほとんど上がっておらず、見直しが必要である。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	1 きわめて良好である 100点	48
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	移住が進まない理由を分析し解決する必要がある。
	2 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	空き家バンクは空き家対策や定住対策に必要な制度であり、PR強化に努める必要がある。
	4 見直しのうえ縮小する	具体的に、どこにどんな人が来てくれたら良いかなど、人材の必要性の調査と確保についての取り組みが必要である。
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
<p>地域おこし協力隊員は、事前に宿泊滞在をして受け入れるべきである。居住できる住宅を確保することも重要であり、リフォームも必要である。</p> <p>任務終了後の協力度合を高め、定住につなげていく必要がある。</p> <p>空き家情報については、町ホームページへの掲載と併せ、具体的な田舎暮らしを紹介することが必要である。</p>